

卷(上)平 ヒラ 評論家。大正十一年藏島縣生れ(一九二一)。東京大學卒。

著書『姦道のモラルー一夫一婦と結婚外恋愛』(昭和二十四年七月)  
『二十日本文社「カッパ・ブックス」』、ホナザウイ作『勾える園』(勾  
ナシガ・ランガ 丸) (大場正史合訳、昭和二十七年九月)、『五百新流  
社』、『私はB.G.その生活の社会学的分析』(合著、昭和二十八年  
十一月一日青木書店「青木新書」)、『ケ子でいこう!』(合著・ダ  
イヤモンド社編、昭和四十年八月)、『百ダイヤモンド社』等。